



金属分析の高精度化

原子吸光分析装置用 Hollow Cathode Lamp

High-precision Analysis of Metals
by Atomic Absorption

近年、新たな分光分析法として、高感度、迅速、高精度などの特長を持つ、原子吸光分析法が脚光を浴びてきた。従来の吸光光度法、ポーログラフ法に代わり、すべての金属分析に広く応用され、発展している。

この原子吸光分析装置には、被分析金属に対応する原子スペクトル線源が用いられる。この性能を左右するものは、原子スペクトル線のプロフィールであり、線幅の狭く、純粋な金属原子スペクトル線発生放電管(Hollow Cathode Lamp)が研究、開発され、原子吸光分析精度を向上させている。写真はHollow Cathode Lampの排気、元素金属電極処理、調整操作作業である。

(日立製作所 那珂工場)